

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等		
				目標数値	実績数値	達成率	目標数値	実績数値	達成率	内容	自己評価	調査結果	満足度	必要性	補足		目標①	目標②	
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等が小規模等細企業を中心とした事業所へ訪問。融資等の金融相談、従業員や企業規則等の労務相談、申告時期の税務相談など、経営全般について様々な相談への対応をすることにより健全な企業の育成を図る。窓口指導についても、今まで以上に門戸を広げ、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数323企業（内、非会員23企業・創業7企業） ・巡回窓口指導延件数1,403件（内、非会員87件・創業30件） ・課題解決提案件数23件 ・経営革新計画承認件数1件 ・地域弁護士制度2件 ・田原市中小企業総合支援事業補助金（創業補助金1件/空き店舗補助金1件） ・持続化補助金申請件数（一般型）申請件数24件（採択件数20件） （コロナ枠）申請件数3件（採択件数3件） ・創業支援 創業計画1件/創業融資1件 ・事業計画策定支援9社	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 233.8%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 115.0%)	得られた効果	巡回窓口業務を通じて、各種制度の情報提供を図り、多様化する課題に対してワンストップで対応。特にコロナ関連の政策や制度についての相談は、緊急性を求められることから商工会公式LINEアカウントを開設し、様々な情報発信をタイムリーに情報発信することを開始した。これは非常に好評であり会員満足度の向上に繋がった。また、通年募集となった持続化補助金の支援をすることで多くの企業が事業計画の策定に繋がった。金融に関しては、コロナ関連の制度融資は、緊急的な資金繰り悪化の回避が図れ有効であった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	満足度	必要性	補足	目標①	目標②	企業への情報配信は重要性が高く求められているが、多くの企業が閲覧するにはどのような課題である。本年度実施した公式LINEアカウントの登録会員を増やすこと、閲覧しやすくなる見易さを改善していく。また、地元金融機関との連携による金融支援を始め、経営革新等の認定支援機関として各種制度支援を目指す。コロナ情勢により講師派遣や巡回指導への支援を鑑み、WEB窓口など試験的に実施することで企業のIT活用の浸透の地作りを図りたい。
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算等の指導を行い、適正な税務申告と経理の目録化や計数管理による経営力の向上を支援する。	事業を進めていく上で、日々の記帳の重要性について理解していただくとともに、決算・申告に結びつく指導を行った。 指導対象事業者数 86件 指導日数 773日 指導回数 832回	小規模事業者	指標	指導対象事業者数 (達成度 98.9%)	指標	(達成度 %)	年間を通しての記帳指導と源泉・年調・決算申告の指導を通し、申告納税制度への理解と正しい記帳による正しい申告の重要性を認識してもらえた。また、e-Taxによる電子申告も多くの事業主がその利便性を認識し、理解が深められた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	必要性	補足	目標①	目標②	自主申告納税制度への理解を深め、正しい記帳・申告を推進し、経営力の向上を支援していく。	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営・金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、小規模事業者が抱える経営上の問題点に対応する実務的な講習会及び個別指導会を開催する。	集団 経営一般 7回 95人 個別 労働 1回 1人 金融 1回 1人 税務 22回 153人	小規模事業者	指標	講習会参加者数 (達成度 114.7%)	指標	(達成度 %)	小規模事業者の経営等に於いて、必要とされる事項を開催することができ、受講者の資質の向上を図ることができた。個別指導では専門家より指導を受けられ課題解決へと繋がりが、経営計画に前向きな姿勢をとれるようになった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	満足度	必要性	補足	目標①	目標②	適宜ニーズにあった内容及び時期を思案し開催し、集団講習会では密を防ぐ体制を整えて実施する。	
祭典事業（あつみ夏まつり）	地域住民の賑わいやふれあいを通じて「まち」の活性化を図るとともに、今後の地域の産業発展を目指して、夏の風物詩である夜店「あつみ夏まつり」を開催し、地域の内側から「まち」の元気を促進する。	コロナ感染防止対策が困難と判断し、本年度は中止とした。	商工業者	指標	笑店街参加企業数 (達成度 - %)	指標	(達成度 %)	今までの実施内容を見直し、今後のコロナ禍での実施に向けて検討することができ、新たな事業展開をする見通しがあった。	総合評価		事業実施評価	自己評価	満足度	必要性	補足	目標①	目標②	本年度は緊急事態宣言解除後の感染防止対策が不明瞭であり安全確保が図れないことから中止としたが、次年度は感染防止対策の徹底を図りつつ、地域経済の循環と商工業者の活性化のため内容や開催時期を見直し開催をしたい。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考									
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価						今後の展開・改善点等								
				指標	達成度	指標	達成度	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	調査結果			必要性	実施方法①	実施方法②						
地域振興事業（貝づくし渥美事業）	渥美半島の観光資源を活かした物産品開発や観光サービスについて調査・研究・開発を行った結果、渥美の観光食材づくりの位置づけとして、「貝」を取り上げ、平成21年2月14日を皮切りに「貝づくし渥美」をスタート。内容は、渥美地区全域に「貝」を浸透させ、「貝づくし渥美」を根付かせ、観光客へ「貝づくし渥美」をPRし活気ある観光地への位置づけを目的とする。	協力店全体会議等 5回 4月8日貝の日PR 動画でいなりんピックへの参加 渥美半島菜の花まつりへの協賛参加	飲食店、宿泊施設を中心とした商工業者	指標	19	実績数値	16	指標		実績数値	観光資源である貝の漁獲量は依然として不安定な状況が続いているが、貝料理のPRと誘客を兼ねてめぐる～めQRスタンブラー（愛知県委託事業）に積極的に参加し集客が図れた。また今後、QRコードを活用した取り組みへの参考となった。	総合評価	B	事業実施評価	B	調査結果	事業者への	自己評価	B	満足度	補足	目標①	目標②	行政・漁業組合等と連携を図り、貝の需要と供給のバランスを認識しながら、渥美半島で採れる貝のおいしさを市内外へ伝える方法を企画する。
商工業振興事業（ポイントカード等推進事業）	ポイントカード事業の推進（ポイントカードからの購買力の流出防止や大型店対策を図り、商工業者の発展及び地域産業の活性化を図る。	販売促進並びに消費者サービスを目的として、カード事業の宣伝活動及び共同売出し、キャッシュレス現金チャージ等のイベントを開催。 また、カードの代わりとなるスマホアプリを3月末に導入。 折込チラシ等販売促進イベント回数 19回	事業加盟店	指標	20	実績数値	19	指標		実績数値	隣接する地域のカード事業と共同でイベントや店舗情報消費者へアピールすることによるスケールメリットを感じられ、新規顧客の確保・購買力の流出防止に繋げることができた。 キャッシュレス決済の利便性が徐々に浸透しつつあり、加盟店利用者が増えてきた。	総合評価	B	事業実施評価	B	調査結果	事業者への	自己評価	B	満足度	補足	目標①	目標②	田原カードと連携し、イベントがマンネリ化しないように常にイベント内容を精査し、加盟店の負担にならない、簡単に誰もが楽しめるイベントを模索する。 また、たまほカード内容を充実させ、スマホアプリの推進を図る。
観光振興事業（クリーン事業）	地域小規模事業者が一同となって、渥美半島＝観光地という認識を高め、お客様を迎える体制作りをする為にも、観光地にとって大きな比重を占める清潔度を取り上げ、小規模事業者による渥美半島クリーン事業を行う。	新型コロナウイルス感染症感染防止の観点より、従来の一堂に会し一点を重点的に清掃することから、事業所がそれぞれ事業所周りの清掃を行うことに変更。結果きれいな渥美半島へ繋がりが、魅力ある観光地へと繋がった。 開催期間 令和2年6月 参加事業所 11件 参加者数 52人	商工業者、ボランティア	指標	120	実績数値	52	指標		実績数値	渥美半島（伊良湖岬）は観光地であるという認識を高め、企業が協力し合って、観光客を迎える体制作りができ、「綺麗な渥美半島（観光地）」のイメージを形成することができた。	総合評価	C	事業実施評価	C	調査結果	事業者への	自己評価	B	満足度	補足	目標①	目標②	観光地であることに意識を高め、集客するためには何が必要かを常に考えさせるよう企業の意識改革に努める。
人材育成事業（外国人実習生受入事業）	外国人技能実習生受入企業の活性化と国際貢献を目的として、外国から意欲ある優秀な若者を受け入れ、わが国の優れた「技術・技能・知識」を職場で実際に作業しながら習得し、帰国後に母国の産業振興に寄与できる人材の育成を図る。	新規受入人数 1人 企業巡回12回 技能検定試験の実施 新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた実習生の入国が困難となった。	渥美商工会会員	指標	6	実績数値	1	指標		実績数値	小規模事業者の慢性的な人材不足が、技能実習生の受け入れを行うことで安定的な人材を確保し生産活動を維持継続することが可能となっている。	総合評価	B	事業実施評価	B	調査結果	事業者への	自己評価	B	満足度	補足	目標①	目標②	新たな受け入れ企業の発掘に努める。
青年部事業	青年部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	研修会およびコミュニティ活動の開催、及び地域活性化事業等の本会事業への参加。また、随時、常任委員会を開催。 青年部事業回数 40回	青年部員	指標	40	実績数値	40	指標		実績数値	青年部事業を通して、地域リーダーの後継者を育成し、同世代の仲間との交流や各種事業実施の経験をする過程において自分を磨き、企業及び地域の後継者としての知識の習得や人格形成ができた。	総合評価	B	事業実施評価	B	調査結果	事業者への	自己評価	B	満足度	補足	目標①	目標②	事業内容を充実させ、企画・運営を通し、より良い人材の育成に努める。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度	総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②		
女性部事業	女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持ち、地域社会の発展に寄与する。	コミュニティ活動の開催、及び視察研修等の企画、立案等。また、随時、常任委員会を開催。 女性部事業回数 10回	女性部員	指標 事業の開催回数 (達成度 41.7%)	24	10	10	指標 (達成度 %)	経営への参画、経営に必要な知識の習得の他各種事業等への企画・立案を通じて他業種間の交流と自己啓発が図られた。	総合評価 C	事業実施評価 B	調査結果 自己評価 C	満足度 C	補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	部員の高齢化と事業の廃業等による部員数は減少傾向にある。魅力ある企画と事業を充実させ加入勧奨に繋げたい。		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	算定基礎賃金報告書に基づき労働保険料の申告・納付(3期)。労働保険に関する各種届出の事務手続。巡回・窓口指導など従業員把握とともに、加入促進。 委託事業所数 54件	従業員を雇用している事業者	指標 委託事業所数 (達成度 108.0%)	50	54	54	指標 (達成度 %)	労働保険料の納入を始め、各種事務手続きを代行することで、商工業者の事務の負担軽減が図れた。また、労働保険相談窓口として対応でき、企業の適正な労働保険業務に繋がった。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 自己評価 A	満足度 B	補足	目標① 上げる	目標② 実施方法① 実施方法②	コロナによる雇用調整助成金の相談から新規加入があった。しかし、事業廃止および従業員不在による事務委託解除は懸念される。国内を始め地域の人手不足が改善されない限り、現状を維持することが今一番の取り組みである。また、コロナ関連の制度情報は常時配信していきたい。		
税務関係団体指導事業(法人会事業)	法人会の税務支援・地域貢献の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	法人会本部及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。 本部事業 12回 本部事業研修会 中止 支部事業 7回 支部事業 研修会 1回	法人会会員	指標 各種事業の回数 (達成度 80.0%)	25	20	20	指標 (達成度 %)	支部事業を実施することで、地元経営者への税務の啓発を図れた。その他管内の小学校へ、「新年生への「れんらくちょう」を配布し、法人会活動のPRを図った。	総合評価 B	事業実施評価 B	調査結果 自己評価 B	満足度 B	補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	本年度は、コロナ感染拡大の懸念から事業中止が相次ぎ思うように事業活動が実施できなかった。次年度は感染防止対策を図りつつ通常の事業活動を柔軟に実施していきたい。		
税務関係団体指導事業(青申会事業)	青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	源泉徴収事務、年末調整事務、決算・確定申告事務を開催。 税務研修会など会員相互の交流事業を開催。 連合会及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。 役員会等 5回 税務指導会 23回 管内事業への出席 8回 関係団体への出席 1回	青色申告会会員	指標 各種事業の回数 (達成度 92.5%)	40	37	37	指標 (達成度 %)	所得税を中心とした、源泉や年末調整、決算書作成及び消費税等、年間をとおしての指導会の開催により会員の方の税知識の向上を図るとともに、実際の申告等の業務においても円滑な処理を行うことが出来た。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 自己評価 B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	15日間申告の指導会を開催したが、依然として後半の日程に参加者が集中する傾向がある。次年度も同様に2月中の早期提出を呼び掛け時間に余裕を持った申告処理が出来るように改善を図る。		
若手後継者等育成事業	若手後継者である青年部員が、地域経済の発展(マクロ)と小規模事業者の持続的な発展(ミクロ)の両面から、その課題解決に向けた取り組みを行うことで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を目的とする。	事業承継セミナー 開催日：11月19日 参加人数：11名 商工会青年部全国大会(熊本) 新型コロナウイルス拡散防止のため中止 鳥羽伊良湖観光交流事業 応募期間：12月18日～3月22日 応募総数：145通	一般参加者 小規模事業者	指標 地域探索型イベント応募数 (達成度 145.0%)	100	145	145	指標 セミナー参加者数 (達成度 44.0%)	広域的な連携を行うことにより、田原市の魅力的な地域資源をより広くPRし、地元客はもちろん、観光客の取り込みができた。また、青年部員がこれらの地域経済の問題に対し常に意識を持つ感覚を養い、その解決に向けた経験を身につけることで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を図ることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	調査結果 自己評価 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	セミナーは事業承継をテーマに知識を身につける事業の発展を目指す。三河湾で繋がっている鳥羽市との交流を深め、交通機関である伊勢湾フェリー一乗船客の増加を目的とした企画を図る。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。